

和の光



宝塚市立西谷中学校

新たなスタートに向けて

校長 筒井 啓介

早いもので、今日、令和5年度の修業式を迎えることとなりました。卒業生をはじめ、1・2年生の皆さん全員が、この1年間、日々の学習や生徒会活動、行事、部活動などに積極的に取り組み、大きな成果を上げることができました。また、これらの活動を通して、一人ひとりが大きく成長したことが実感でき、とても嬉しく思います。そこで、今の学年を修了するに当たり、次の3点を新たなスタートに向けたステップとして欲しいと思います。

1点目は、「自分自身の成長について」です。1・2・3学期と過ごす中で、学習面や生活面、係・委員会活動や行事、清掃・給食当番や部活動など、積極的に、また、責任をもって取り組んできたことと思います。努力してきたこと、粘り強く継続してきたことを、頭の中で思い浮かべてみてください。そうした活動は強く印象に残っているはずですよ。いくつあっても構いません。思い浮かべましたか。まずは、自分自身を褒めてあげてください。こうした取組を継続することにより、自信となり、実力となり、やがて成果が現れてくるのです。仮に、まだ、成果を実感できていないという人がいたとしても、心配することはありません。こうした努力する姿勢こそ、価値があるのです。努力を継続していれば、今後、必ず成果をもたらすことになるでしょう。

2点目は、「集団の成長について」です。日常的な活動から、行事まで、様々な活動において、学級で協力する場面があったと思います。皆さんは、そして皆さんの学級は、協力できましたか。時には、試行錯誤したり、意見が衝突したりすることもあると思いますが、乗り越え、やり遂げた時には、充実感や達成感があったことと思います。皆さん、どうでしたか。学校においても、将来、就職する職場においても、個人だけではなく、多くの人たちと協力する活動が数多くあります。個人としてはできないことでも、一人一人が目的や目標を理解し、集団として協力することにより、大きな力を発揮することができます。みなさんも、様々な過程はあったことと思いますが、それぞれの学級が、何度も困難を乗り越え、大きく成長してきたのではないのでしょうか。次の学年においても、様々な活動において協力し、素晴らしい集団、素晴らしい行事などを創り上げて欲しいと思います。

3点目は、「自分の殻を破ること」です。自分は「本当はやってみたい」、「本当はこうなりたい」のに、なかなか一歩を踏み出せない。想いや理想はあるのに「うまくいかなかったらどうしよう」、「自分にはできない」、「失敗したら恥ずかしい」と、自分自身でストップをかけていませんか。ブレーキの正体は自分の中の不安や決めつけ、過剰な思い込みかもしれません。本当は、自分はどうしたい、どうなりたいのでしょうか。**皆さんには無限の可能性があり、うまくいかないことや失敗をしても、その経験は絶対に無駄にはなりません。素直な自分の姿でいられるように「自分の殻を破って欲しい」と思います。**

さて、次に会うのは4月8日の始業式です。皆さんは進級し、2年生、3年生として会うことになります。4月10日には、入学式を行い、新入生を迎えます。春休み中には、一人ひとり、上級学年としての意識を高め、新たな目標をもって欲しいと思います。それでは、4月に元気な顔で皆さんと会えることを楽しみにしています。

■スプリングコンサートに出演しました

西谷児童館でスプリングコンサートが開催されました。本校の吹奏楽部も参加の機会をいただき、「美女と野獣」「パイレーツ オブ カリビアン」を演奏させていただきました。また、宝塚市吹奏楽団のみなさんと合同で、となりのトロロより「さんぽ」、「六甲おろし」を演奏しました。会場にはたくさんの地域の方々が来場されており、たくさんの拍手をいただきました。このような貴重な機会をいただきました、宝塚市吹奏楽団、西谷児童館、西谷地区自治会連合、西谷地区のみなさんに心より御礼を申し上げます。そして、出演してくれた吹奏楽部の皆さん、心に響く演奏を有難う。これからも、部員の心を一つにして練習を積み上げてください。益々の活躍を応援しています。(3月10日)



部長から挨拶と部活紹介



西谷中吹奏楽部の演奏



西谷中吹奏楽部の演奏



宝塚市吹奏楽団と西谷中吹奏楽部の共演



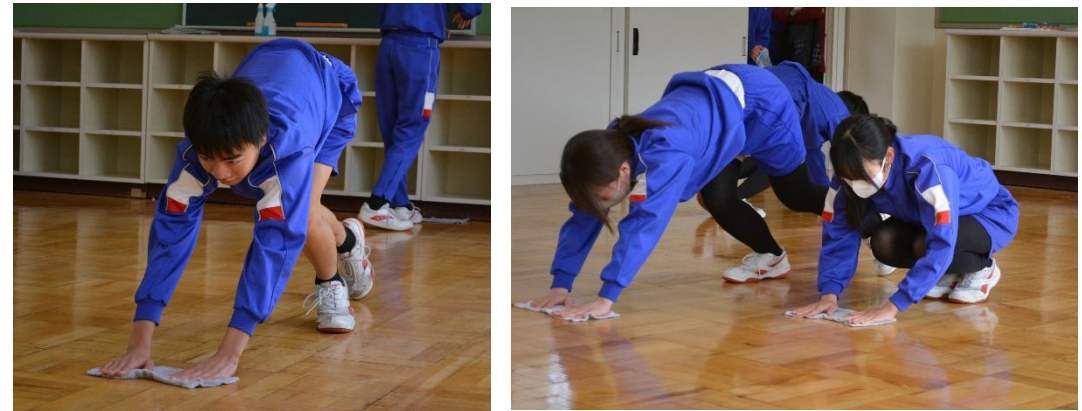
笑顔で記念撮影



宝塚市吹奏楽団の皆さんと記念撮影

■3学期末の大掃除をしました

1年間お世話になった教室をクラスの皆で掃除しました。床を磨き粉で磨き、ワックスをかけ、窓やエアコンフィルターなども綺麗にしました。みんなの真剣な姿に感激しました。



2年生の教室



1年生の教室